

# 音楽 第2学年

## 1 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

(1)	(2)	(3)
曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。	曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら、よさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし音楽に親しんでいく態度を養う。

## 2 評価の観点とその趣旨

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について<u>理解</u>している。</p> <p>(表現・鑑賞)</p> <p>創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な<u>技能を身に付け</u>、歌唱、器楽、創作で表している。</p> <p>(表現)</p>	<p>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を<u>知覚</u>し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。</p> <p>(表現・鑑賞)</p>	<p>音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>(表現・鑑賞)</p>

## 3 評価の観点と評価方法

評価の観点	評価方法			
	1～3学期			
	授業観察	プリント	実技テスト	定期考査
知識・技能	○	◎ (知識)	◎ (技能)	○ (知識)
思考・判断・表現		◎	◎	○
主体的に学習に取り組む態度	◎	○	○	○

## 4 点数配分

	知識	技能	思考・判断・表現	主体的に
授業観察				50
プリント (表現・鑑賞)	80 (鑑賞)		40 (表現) 40 (鑑賞)	100 (表・鑑)
実技テスト (表現・鑑賞)		80 (表現)	40 (表現) 40 (鑑賞)	30
定期考査	40		40	20
総合得点 600点	200点		200点	200点

# 音楽 年間指導計画（第2学年）

月	単元（題材名）	学習内容	評価方法と評価の観点
4	言葉を大切にした歌唱表現 校歌・夢の世界など（表現ウ）	言葉と旋律との関係を理解して表現を工夫する。	<p>●知識・技能</p> <p>曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について<u>理解</u>している。<u>知識/理解</u>（A表現・B鑑賞）</p> <p>創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な<u>技能を身に付け</u>、歌唱、器楽、創作で表している。 （A表現）</p> <p>◇授業観察/ワークシート/ 実技テスト/定期考査</p> <p>●思考・判断・表現</p> <p>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を<u>知覚</u>し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ<u>受</u>しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。 <u>感じる/考える/わかる</u>（表現・鑑賞）</p> <p>◇ワークシート/実技テスト/定期考査</p> <p>●主体的に取り組む態度（表現・鑑賞）</p> <p>◇授業観察/ワークシート/ 実技テスト/定期考査</p>
5	旋律を生かした表現 夏の日の贈り物 など （表現ア/イ/ウ）	旋律の動きを理解し、楽曲の味わいを感じ取って、ふさわしい表現を工夫する。	
6	日本の伝統楽器に親しむ（箏、三味線など） さくらさくら 荒城の月 （鑑賞・表現ア/イ/ウ）	日本の伝統楽器に親しみ、楽器の音色や奏法の特徴を感じ取って鑑賞し、表現の工夫に生かす。	
7	曲のしくみに注目して名曲を楽しむ 交響曲第5番（鑑賞ア/イ/ウ）	動機がどのような使われているかを探り、曲の仕組みを理解して名曲に親しむ。	
9	曲の構成や曲想の変化の理解と表現の工夫 時の旅人 （鑑賞・表現ア/イ/ウ）	曲の構成や曲想の変化に気付かせ、それぞれの特徴を生かした表現を工夫する。	
10	音の重なり方の理解と表現 合唱曲（鑑賞・表現ア/イ/ウ）	ユニゾンや和声的・多声的な声部の重なりによって生み出される味わいを感じ取り、曲にふさわしい表現を工夫する。	
11	速度や強弱の変化を生かした表現の工夫 六段の調べなど（鑑賞ウ・表現ウ） フーガなど（鑑賞・表現ア/イ/ウ）	速度記号や強弱記号の働きを理解した表現を工夫する。 動機のリズムの組み合わせや厚生を工夫する。	
12	日本の歌と世界各地の歌（曲の特徴を感じ取る） 荒城の月 サンタルチア （鑑賞・表現ア/イ/ウ）	歌詞や旋律とのかかわり、音色を感じ取りながら曲のもつ情緒を味わって表現を工夫する。	
1	構成を工夫して言葉によるリズムアンサンブルづくり フーガなど（鑑賞・表現ア/イ/ウ）	動機のリズムの組み合わせや厚生を工夫する。	
2	オペラや日本伝統音楽に親しむ アイダ 能・文楽 （鑑賞ア/イ/ウ） 混声合唱へのステップ	音楽の特徴について他の芸術や歴史とのかかわりを理解しながら、音楽の諸要素の働きを根拠とし、批評するなどしてよさを味わう。	
3	さまざまな曲想の表現 合唱曲（鑑賞・表現ア/イ/ウ）	音楽を形づくっているさまざまな要素を知覚し曲想や魅力を生かして表現する。	
年間 指導時間数（合計）			

※新型コロナウイルスの感染状況によっては、授業内容を変更することがあります。